

2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月7日

上場会社名 日東工器株式会社

上場取引所

東

コード番号 6151 URL <http://www.nitto-kohki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小形 明誠

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員IR担当

(氏名) 新井 一成

TEL 03-3755-1111

四半期報告書提出予定日 2019年11月8日

配当支払開始予定日

2019年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	13,812	△5.2	2,293	△21.1	2,311	△22.5	1,606	△24.7
2019年3月期第2四半期	14,567	4.9	2,908	6.3	2,980	7.3	2,131	9.5

(注)包括利益 2020年3月期第2四半期 1,441百万円 (△20.0%) 2019年3月期第2四半期 1,801百万円 (△16.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	76.02	—
2019年3月期第2四半期	100.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	62,190	54,483	87.6	2,600.03
2019年3月期	62,250	54,402	87.4	2,560.06

(参考)自己資本 2020年3月期第2四半期 54,476百万円 2019年3月期 54,395百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	34.50	—	34.50	69.00
2020年3月期	—	31.50	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	31.50	63.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,110	4.0	4,720	△14.0	4,780	△11.0	3,300	△9.4	155.31

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.8「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	21,803,295 株	2019年3月期	21,803,295 株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	851,241 株	2019年3月期	555,676 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	21,126,083 株	2019年3月期2Q	21,247,719 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間において、米中貿易摩擦による中国経済の減速により、産業機械などの輸出減少が続き、外需の低迷が長引いています。一方、国内では、人手不足への対策や合理化を目的とした設備投資、老朽化した設備の更新需要が引き続き堅調でした。

このような経営環境の中で、当社グループは、当第2四半期連結累計期間における売上高は138億12百万円となり、前第2四半期連結累計期間145億67百万円と比較すると、5.2%の減収となりました。利益面では、営業利益は22億93百万円となり、同29億8百万円と比較すると21.1%の減益、経常利益は23億11百万円となり、同29億80百万円と比較すると22.5%の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は16億6百万円となり、同21億31百万円と比較すると24.7%の減益となりました。

事業のセグメント別の業績は、次のとおりです。

迅速流体継手事業は、国内における半導体関連の売上げ減少や、アジアを中心に販売が伸び悩み、売上高は59億52百万円（前第2四半期連結累計期間比8.9%の減収）となりました。利益面では、売上げの減少にともないセグメント利益は15億49百万円（同16.7%の減益）となりました。

機械工具事業は、国内の建設業界向けの販売は堅調でしたが、海外での売上げが減少したことにより、売上高は46億61百万円（同2.5%の減収）となりました。利益面では、売上げの減少と経費の増加によりセグメント利益は5億81百万円（同17.8%の減益）となりました。

リニア駆動ポンプ事業は、欧米での売上げが減少し、売上高は19億88百万円（同5.8%の減収）となりました。利益面では、売上げの減少と経費の増加によりセグメント利益は20百万円（同89.7%の減益）となりました。

建築機器事業は、国内の売上げが堅調だったため、売上高は12億9百万円（同5.8%の増収）となりました。利益面では売上げの増加によって、セグメント利益は1億42百万円（同0.6%の増益）となりました。

海外売上高は、38億23百万円（前第2四半期連結累計期間比15.5%の減収）となりました。アジアを中心に売上げが減少し、海外売上高の連結売上高に占める割合は27.7%となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、621億90百万円となり、前連結会計年度末と比較して59百万円の減少となりました。

資産の部では、流動資産は448億90百万円となり、前連結会計年度末と比較して45百万円の減少となりました。これは主に有価証券の減少10億99百万円、現金及び預金の増加5億40百万円、商品及び製品の増加2億99百万円、原材料及び貯蔵品の増加1億63百万円によるものであります。

固定資産は、173億円となり、前連結会計年度末と比較して13百万円の減少となりました。これは主に投資有価証券の減少2億11百万円、有形固定資産の増加1億7百万円及び無形固定資産の増加44百万円等によるものであります。

負債の部では流動負債は、37億89百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億23百万円の減少となりました。これは主に買掛金の減少84百万円及び役員賞与引当金の減少12百万円等によるものであります。

固定負債は、39億18百万円となり、前連結会計年度末と比較して16百万円の減少となりました。これは主に役員退職慰労引当金の減少61百万円及びリース債務の増加42百万円等によるものであります。

純資産の部では、親会社株主に帰属する四半期純利益は、16億6百万円でしたが、配当金の支払い7億33百万円があったため、利益剰余金は、8億72百万円の増加で517億17百万円となりました。またその他有価証券評価差額金が1億40百万円の減少及び為替換算調整勘定が29百万円の減少等があったため純資産の部は、544億83百万円となり、前連結会計年度末と比較して81百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予測につきましては、2019年5月9日の「2019年3月期決算短信」で公表しました通期の連結業績予想から変更ありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,978	26,519
受取手形及び売掛金	4,796	4,801
電子記録債権	2,541	2,416
有価証券	5,499	4,399
商品及び製品	3,253	3,552
仕掛品	267	312
原材料及び貯蔵品	2,233	2,396
その他	367	493
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	44,935	44,890
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,133	11,159
減価償却累計額	△5,635	△5,791
建物及び構築物(純額)	5,498	5,368
機械装置及び運搬具	3,908	4,061
減価償却累計額	△2,788	△2,948
機械装置及び運搬具(純額)	1,120	1,112
工具、器具及び備品	6,898	7,080
減価償却累計額	△6,393	△6,511
工具、器具及び備品(純額)	504	568
土地	3,682	3,706
リース資産	1,726	1,921
減価償却累計額	△678	△779
リース資産(純額)	1,048	1,142
建設仮勘定	199	263
有形固定資産合計	12,054	12,162
無形固定資産		
その他	609	654
無形固定資産合計	609	654
投資その他の資産		
投資有価証券	3,180	2,968
長期貸付金	55	50
繰延税金資産	1,180	1,245
その他	250	235
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	4,650	4,484
固定資産合計	17,314	17,300
資産合計	62,250	62,190

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	978	893
リース債務	198	250
未払法人税等	418	797
賞与引当金	586	615
役員賞与引当金	32	20
その他	1,698	1,212
流動負債合計	3,912	3,789
固定負債		
リース債務	845	887
退職給付に係る負債	2,473	2,478
役員退職慰労引当金	270	209
資産除去債務	11	11
その他	333	331
固定負債合計	3,934	3,918
負債合計	7,847	7,707
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,850	1,850
資本剰余金	1,924	1,924
利益剰余金	50,844	51,717
自己株式	△918	△1,546
株主資本合計	53,700	53,946
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	872	731
為替換算調整勘定	△123	△152
退職給付に係る調整累計額	△54	△48
その他の包括利益累計額合計	694	529
非支配株主持分	7	7
純資産合計	54,402	54,483
負債純資産合計	62,250	62,190

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	14,567	13,812
売上原価	7,011	6,712
売上総利益	7,555	7,100
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	1,176	1,245
賞与引当金繰入額	355	353
退職給付費用	75	82
役員退職慰労引当金繰入額	18	17
販売促進費	477	429
研究開発費	452	427
その他	2,091	2,250
販売費及び一般管理費合計	4,647	4,806
営業利益	2,908	2,293
営業外収益		
受取利息	19	14
受取配当金	35	40
為替差益	34	-
受取家賃	16	16
その他	36	27
営業外収益合計	141	98
営業外費用		
売上割引	52	51
為替差損	-	24
その他	16	5
営業外費用合計	68	81
経常利益	2,980	2,311
特別利益		
投資有価証券売却益	-	30
特別利益合計	-	30
税金等調整前四半期純利益	2,980	2,342
法人税等	848	735
四半期純利益	2,131	1,606
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,131	1,606

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	2,131	1,606
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	50	△140
為替換算調整勘定	△377	△29
退職給付に係る調整額	△2	5
その他の包括利益合計	△330	△164
四半期包括利益	1,801	1,441
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,801	1,441
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,980	2,342
減価償却費	587	640
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	19	12
受取利息及び受取配当金	△54	△55
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△30
売上債権の増減額(△は増加)	△224	120
たな卸資産の増減額(△は増加)	19	△548
仕入債務の増減額(△は減少)	79	△88
未払消費税等の増減額(△は減少)	86	△24
その他	△400	△586
小計	3,094	1,781
利息及び配当金の受取額	65	66
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,577	△379
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,581	1,468
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△12,840	△14,135
定期預金の払戻による収入	14,267	14,348
投資有価証券の取得による支出	△12	△14
投資有価証券の売却による収入	-	53
有価証券の取得による支出	△2,000	△400
有価証券の償還による収入	1,299	1,000
有形固定資産の取得による支出	△486	△500
無形固定資産の取得による支出	△75	△108
その他	73	11
投資活動によるキャッシュ・フロー	225	255
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	△627
配当金の支払額	△870	△733
リース債務の返済による支出	△102	△122
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△973	△1,483
現金及び現金同等物に係る換算差額	△94	7
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	739	248
現金及び現金同等物の期首残高	14,889	13,835
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,629	14,083

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は2019年5月9日開催の取締役会決議に基づき、自己株式295,500株の取得を行っております。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が627百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が1,546百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

在外連結子会社

「リース」(IFRS第16号)

「リース」(IFRS第16号)を第1四半期連結会計期間の期首より適用しております。

本基準の適用による財政状態及び経営成績に与える影響は軽微であります。

なお、本基準の適用にあたっては、経過措置として認められている本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	迅速流体継手	機械工具	リニア駆動ポンプ	建築機器	
売上高					
外部顧客への売上高	6,533	4,779	2,110	1,143	14,567
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,533	4,779	2,110	1,143	14,567
セグメント利益	1,860	707	198	141	2,908

セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	迅速流体継手	機械工具	リニア駆動ポンプ	建築機器	
売上高					
外部顧客への売上高	5,952	4,661	1,988	1,209	13,812
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,952	4,661	1,988	1,209	13,812
セグメント利益	1,549	581	20	142	2,293

セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。